



学校だより

# たくま

白鷹町立荒砥小学校

令和3年 3月17日

## 元気！本気！そして改めて”感謝”

校長 菅原 透

令和2年度…、思い起こしてみると…。新型コロナウイルスの影響で、4月は始業式と入学式1日のみ登校。5月に、分散登校からようやく再開となりました。その後、1学期は感染予防に最大限配慮して最小限の活動を粛々と続け、水泳を一度もしない夏にもなりました。2学期からは少しずつ行事等を開始。クラブに地域の先生をお招きし、回数は減ったものの、プロの技を伝授いただきました。5年生は野外炊飯を行わない宿泊学習。6年生は、班別行動をしない修学旅行。応援等を極力制限し、半日開催になった運動会。保護者の鑑賞を自粛いただいた学習発表会（後日配付したDVDは好評でした）。手はつながず、なかよしの思いを心で紡いだ1・2年生の遠足…。時期や内容は変更になりましたが、子どもの笑顔を求めてできる限りの活動を仕組み続けました。3学期はスキー。昨年度は雪不足でできませんでしたが、今年は十分堪能することができたと思います。2月にはたくまバンドの移杖式。全体での活動はできなかったものの、伝統はしっかり継承されました。6年生に感謝する会は、あったかい気持ちがいっぱいのすてきな会になりました。思いやり名人が集う荒砥小ならではあったと思います。



今年度は、“元気！本気！琢磨校” “あいうえお名人” を目標にしてきました。あいつ名人は確実に増えてきました。朝のあいつ、校内でのあいつは“元気！”そのものです。いい姿勢名人も、「立腰（りつよう）」のかけ声が浸透し、凜とした姿が多く見られました。えんぴつ名人は、正しい持ち方ができる子どもが増え、場に応じて使い分ける？器用さも出てきました。思いやり名人は前述のとおり。歌声活動が制限された今年度でしたので、うたごえ名人はなかなか本領発揮とはいきませんが、本日、6年生への感謝サプライズで、在校生が思いを歌声に込めて「大切なもの」を披露しました。たくまっ子広場に集まった6年生に、1・2年生は1階から、3年生は1・2階から、4年生は2階、5年生は3階から思いを届け、全校で感動を味わうことができました。子ども達とともに教職員の工夫が織り込まれたすてきな瞬間に、今年の窮屈な思いがっぺんで吹き飛んだような清々しさと温かさを感じました。元気！本気！そしてみんなで高まり合う琢磨校…。皆様のご支援に感謝いたします。本当にありがとうございました。来年度は、創立150周年の慶事を迎えます。

